

### 1. 安全安心(暗然暗心)なオリンピックの開催

コロナに対する心配は「医療体制の修復」「ワクチン注射の遅れ」「コロナ変種対応」などなど大きな問題が沢山あるままで「安全安心のオリンピックを何としてもやる」と言われるとホントに大丈夫？と「暗然暗心」にならざるを得ない。

### 2. 有ってはならない(会ってはならない)

御長男の意向を忖度したお役人が、**有ってはならない**利益誘導的な話を飲食付きで重ねたのがばれてしまった。**会ってはならない**ことだったのでお役人は「記憶にない」とシラバックレタが、証拠を突き付けられて「そんなこと言ったとは驚天動地だった」と釈明。保身のために記憶喪失するような役人に大事な国の仕事は任せられないので即時クビだ。然し御父上は渋々「心からお詫び申し上げます、大変申し訳なく思います」と他人事のようにゴメンの一言で決着の魂胆。国民をなめんじゃあねえよ！

### 3. 「ウソつきは泥棒の始まり」と「ゴメンで済むなら警察いらぬ」をワンセットで使う。

この二つの諺(戒め)は子供が使うものだが、政界ではこの二つをつなげると、**(ウソつきは確かに泥棒の始まりだが、ゴメンと言え警察への心配はしないで済む)**となる。

国会の答弁で110回以上もウソを言った前首相や、禁じられた飲食のご接待の役人たちはバレたら国民の前で「深く深く反省し心からお詫び申し上げます」とか「真摯に受け止めて今後十分注意致します」と神妙に頭を下げてれば、身内からは「適切な対応だ」とされる。ゴメンと言えれば1件落着で、警察では不起訴にする仕組みができています。私たちが子供の頃は嘘をついたら仲間外れにされるし、相手に意地悪をしたら、親に連れられて相手の家へ謝りに行かされたものだ。人間としての道を踏んでいたつもりだった。今回ウソをついた奴は全員見せしめのために警察のお世話になるべきだ。

### 4. 全日空と日本航空(全日カラと二本航空)

コロナの影響で不況直撃の航空業界(国際線減便率90%台)の中で苦勞している経営者、従業員の方達への同情から思わず出た言葉である。

この1年間両社の国内便を数回利用したが、空港は且つての賑やかな面影はなく、機内は10人前後と、閑散としていた。**全便空っぽ同様に、ドル箱路線も1日2本程度**の運航に思わずブラックジョークが出てしまった。航空会社の窮状に実感し、同情した瞬間。

### 5. 美しい国日本(米国日本)

安倍内閣の時に将来の日本像として「美しい国、日本」という表現が印象的だった。

でも待てよ、中国語を多少でも知っている人がこれを「美国日本」としたら少々変に思われませんか？中国語ではアメリカの国を漢字で「美国」と書くのだ。「米国」ではない。

**美国日本**が「米国の日本」と誤解されぬよう。日本と中国で漢字表記の違う国の例：

\*米国(美国)、独国(德国)、仏(法)、露(俄)、伊(意)、豪(澳)など。以上